

こうふ町 議会だより

町勢

世帯数/1,118世帯
人口/3,307人
(平成25年11月1日現在)

町の木



ぶな

町の花



あやめ

最後のグラウンドを踏みしめて！

24年度決算を認定	2P
決算特別委員会参考意見	7P
いっぱん質問 町政を問う	10P
私のひと言	14P

平成24年度 歳出総額

50億5840万円認定

一般会計

33億6,565万円

特別会計

16億9,275万円

町の財政は、

健全化に向けて大きく前進

平成25年9月定例会は10日に招集され、会期を20日までの11日間として開かれた。

今回の定例会は平成24年度一般会計と15の特別会計の決算を審議した。

町長からの提出議案31件は慎重審議し、すべて可決した。

最終日に除雪車購入契約が追加提出議案として出され、987万円で米子コマツ㈱との契約を可決した。

また、6議案が議員発議され可決した。

一般会計

平成24年度の一般会計は、歳入総額35億2066万円、歳出総額33億6565万円で、ほぼ前年と同じ決算となった。

町長以下、職員、町会議員の給料、報酬、定数を削減し新しい投資は、出来る限り行わないなど厳しい財政改革を行った結果、当初見込みより3年もの、早い財政改善が実現となった。

ただ、中学校建設や庁舎建設などを考慮し、引き続き財政の一層の健全化に向けて取り組む必要がある。

費目別内訳(主なもの)

1. 公債費(19%)
6億4105万円
2. 総務費(15%)
5億0855万円
3. 民生費(18%)
5億9299万円
4. 衛生費(8%)
2億7198万円
5. 農林水産業費(11%)
3億7737万円
6. 土木費(8%)
2億5233万円
7. 教育費(7%)
2億3891万円
8. 消防費(3%)
8462万円
9. 災害復旧費(1%)
4535万円

特別会計

平成24年度の15特別会計歳入総額18億2279万円、歳出総額16億9275万円であるが一般会計から3億964万円繰り入れを行っている。

主な歳出

1. 国民健康保険(事業勘定)
3億3639万円
2. 国民健康保険(施設勘定)
2億3807万円
3. 介護保険(保険事業勘定)
5億1897万円
4. 簡易水道事業
1億2188万円
5. 農業集落排水事業
2億400万円
6. 公共下水道事業
5639万円
7. 索道事業
6299万円

監査委員の審査意見

地域の特性を活かし個性ある 将来展望の持てる町づくりを

平成24年度江府町決算
監査に伴う行財政の実態
と問題点を総括します。

平成24年度予算執行に
当たっては、財政状況の
厳しい中、財政健全化判
断基準の実質公債費比率
も23年度19・6%から24
年度17・0%、将来負担
比率も102・0%から
66・8%に改善され、財
政調整基金に2億5千万

円を積み立てる等努力を
認めますが、県内の平均
より実質公債費比率、将
来負担比率も悪い状況で
あり、積立基金も多い方
ではない。

平成23年台風による災
害、本年7月15日の豪雨
による災害により、今後
の江府町財政、基幹産業
に大きな影響が出ること
が予想されます。

また、6月に国の財政
諮問会議において、経済
財政運営指針「骨太方針
の素案」で地方行政改革
地域に活性化の努力を查
定し、頑張る地方自治体
に交付税を重点配分する
方針が示された。

このような中で、各種
政策課題を着実に推進す
ることが求められており、
住民・地域・行政が一体
となり、住民が安心・安
全で暮らせ、地域の特性
を活かし個性ある将来展
望の持てる江府町づくり
を推進して頂きたい。



砂原和省代表監査委員

特別会計総括

平成24年度の決算収支
は1134万円の黒字と
なったが、一般会計から
3億964万円を繰り入
れた結果であり、今後の
運営に当たっては検討が
必要である。

国民健康保険、住宅新
築資金等貸付事業、簡易
水道、農業集落排水事業
等の会計に収入未済額が
あり、この徴収について
特段の努力と時効の中断
に努められたい。

留意事項

1. ハザードマップの見直しを検討されたい。
2. 職員コンプライアンス研修を充実し、より一層の資質向上を図られたい。
3. 公共施設の管理運営の効率化を図られたい。
4. 遅滞債権回収に努力されたい。



災害（美女石）

決算の審査

一般会計

関西交流会の状況は

Q 交流会の参加者が近年減っているが今後の対策は。

A 若い人にも案内をして江府町をアピールしていきたい。

ふるさと納税が増えているが

Q 昨年よりふるさと納税が増えているが地域的にはどこか。

A 地域的には関西ばかりではなく広島



方面、関東等もあります。24年度は205件、金額は273万5000円。増えて感謝しています。一万円以上の人にはお礼の品を送ります。今後関西だけでなくインターネットで全国にPRしたい。

役場宿直員は

Q 役場宿直員は現在何名で勤務体制は。

A 3名です。そのうち2名が交代で当直。

交流施設管理は

Q 各交流施設の管理はどうなっているか。

A せせらぎ公園の管理は4月～11月まで農業公社に、チロリンハウス管理は商工会に委託している。

新エネルギーについての検討は

Q 他町でも新エネルギーについて検討されているが江府町では。

A 太陽光発電は送電線の問題が優先するが条件が可能であれば検討したい。

インターネット普及は

Q インターネットの普及率が上がらないか。

A 加入率増に努力したいが毎月の基本料金が必要であり今後も努力したい。

老人クラブの現状は

Q 町内老人クラブの状況は。

A フクチン投与を受けた人の副作用が認められた例もあり、希望者のみ投与している。

子宮頸ガンワクチンは

Q 子宮頸ガンワクチンの状況は。

A 現在19集落、868名全員数で活動しています。



高齢者スポーツ大会

緊急雇用の状況は

Q 今年度の緊急雇用の状況と人数は。

A 予算より金額が2900万円減になったので、その分町が直接雇用し、7名となった。

特産野菜 導入事業は

Q こんにゃく芋栽培の種芋購入助成を行っているが状況は。

A 昨年より耕作面積は順調に増えているが、長雨により排水が悪くその為病気が発生し、消毒等対応している。

堆肥センターの販売実績は

Q 堆肥センターの販売が落ち込んでいる様だが対策は。

笠原市民農園は

Q 笠原市民農園の今後の対策と管理は。

A 過去5年間の平均と比較して下降気味です。単価は他町より安いので原因を調査したい。

植樹祭の植樹会場(めぐみの森)に看板設置を

Q 入口が解りにくいので看板設置を。

A 今後については指定管理は行わず、運営方針については運営審議会で検討するも結論が出ず、更に検討をする。



植樹祭会場

奥大山スキー場をシーズン前にPRしては

Q 災害後、来場者が減っているので、利用客を増やす方法を検討すべきでは。

A シーズンを控えインターネット等でPRもしてイベント等取り入れながら集客に努めたいと思います。

鳥獣害対策は

Q イノシシの柵はどの地区を計画しているのか。

A 大河原地区にワイヤーメッシュ設置予定です。



大河原イノシシ柵設置

特別会計

国民健康保険 特別会計(施設勘定)

Q その他の診療報酬収入が大幅に減少しているが。

A 23年度はその他の収入に検診や受託事業が入っていたが、24年度は雑収入扱いとしたため。

Q 医科の診療報酬の減少の要因について。

A 前年度と比較して患者さんの総数は同じであるが同一人の回数が増減したため。



介護保険事業特別会計 (保険事業勘定)

Q 要介護者が要支援者になった場合、老健施設を退所しなければならぬが、要介護と要支援の狭間で苦労されている方の介護施設への対応は。

A 施設から家庭に戻られれば良いが、実態としては大変難しい状況である。

Q 民間施設への入所も財政的に無理がある。在宅介護がベターであるが、諸支援を重複しなければ対応できないのが現状である。

Q 介護認定を各自治体が対応することによって、自治体毎に差異が生じると思われるが。

A 要支援1・2の方を介護老健から除外の動きがあるが、支援センターの事業費2%ー4%に増額させ地域支援に充てる。町の財政に圧

迫が掛つてくるとともに、町の責任が大きくなります。

介護老人保健施設 特別会計

Q 老健施設あやめの起債償還状況は。

A 24年度末未償還額は、7億7848万円です。完済年度は平成47年度末となっております。

簡易水道事業 特別会計

Q 西成地区の水道の町水道への移行を速やかに。

A 財政的視点からも集落の将来及び水質状況を西成地区に説明いたしました。前向きに検討することの返答を頂きました。

特定環境保全公共 下水道特別会計

Q 農業集落排水事業と公共下水道の一本化は。

A 公共下水と農業集落排水を接続した場合の経済効果を精査し、検討していきます。



公共下水道処理場

決算特別委員会

参考意見

一般会計

江府町の平成24年度一般会計決算は、35億2000万円であり前年対比98・2%となっています。また平成24年度決算における実質公債費比率は17・0%となり、早期健全化基準の25・0%を下回っています。これは、財政健全化に向け報酬カット等、努力されたことがうかがえます。

25年度の大規模事業として江府中学校建設事業、それに伴う町民プール移転事業の他、豪雨による災害復旧等、大型投資も計画されていますので、今後とも財政運営に傾注されたい。



総務課

①7月15日の豪雨災害により、土砂災害ハザードマップの避難場所等見直しが必要なお知らせがあると思われるので、検討されたい。

企画政策課

①財政健全化による現状を町民の皆さんにも情報提供されたい。

②全集落で計画的に行政座談会を開かれるよう要望する。

③まちづくり町民会議は、6年間の活動。今回をもって閉会となった。

今後新たな事業展開を検討される方向であり、動向に注目されたい。

奥大山まちづくり推進課

①関西交流会の参加者が年々減ってきているので、今後のあり方を検討されたい。

②新エネルギー導入事業（太陽光発電）について、

送電線の容量等検討されたい。

③町民の生活路線として町営バスが運行されているが、利用者が減っている。

また昼便の時刻について検討されたい。

④絵の描ける町、写真の撮れる町のスポットを全国にアピールしてはどうか、検討されたい。

⑤平成23年台風12号で被害にあった木谷沢谷の復旧工事を早急に努力されたい。

⑥ふるさと納税は、平成24年度実績寄付件数205件、金額273万5000円で増えている。更なるPRを望みたい。

奥大山スキー場管理課

①市民農園施設管理事業については、指定管理委託契約が満了。

今後の運営方針については、審議会で検討されたい。

②エバーランド奥大山の年間利用方法も今後の課

題であり、スキーズン控えて早急に検討されたい。

農林課

①堆肥センターの利用実績が落ち込んでいる。単価は他町より格安なので、原因と今後の対応を検討されたい。

住民課

①町税の徴収率は県下でも高いと聞いているが、収入未済額も増加して滞納者の固定化も見られる。徴収に更なる努力を望みたい。

教育委員会

①スクールソーシャルワーカー事業は現在2名、週2日勤務で対応されている。効果も表れていると聞くので、継続されたい。

②保育料の負担を軽減することで、移住・定住化の促進にもつながると思われるので検討をされたい。

③平成25年度中学校建設工事と町民プールの移転工事が着工した。工事の安全に十分鋭意努力されたい。

④図書館費の増額を検討されたい。



中学校建設現場

特別会計

国民健康保険特別会計(施設勘定)

医師2名体制は喫緊の課題である。早急に検討して実施されたい。
患者の診察待ちが長く苦痛を感じるという声が

あり、解消方法として歯科は予約制、日野病院はリアルタイム制など取り組んでいる。診療所においても改善を検討されたい。

介護保険事業特別会計(保険事業勘定)

事業開始以来急増して



老健施設あやめ 作業風景

索道事業特別会計

スキーシーズン到来前の営業活動を行い、同時にホームページ等を工夫して積極的な推進を図りたい。利用者の安全を守るための取り組みを知らせ、安心なスキー場をアピールしていただきたい。

いるデイスービス利用者の利便性の向上並びに認知症患者の受け入れにも万全の態勢をとっていただきたい。

簡易水道事業特別会計

町水道に移行していない集落においては、生活に直結する水道を優先的課題とし、スピード感をもって町水道への移行を実施するよう検討されたい。

農・林業集落排水事業特別会計

集落排水事業に対応で

特定環境保全公共下水道事業特別会計

公共下水供用開始以来

きない集落に対する個別合併処理浄化槽の普及促進に努められたい。

12年経過した状況を踏まえ、町全体計画を見直し、川筋地区の農業集落排水との接続問題を検討されたい。



奥大山スキー場

あなたも議会を傍聴してみませんか

詳しくは議会事務局へ

電話番号75-3307

議長報告

西部広域

行政管理組合

臨時会

特別委員会設置

平成25年7月30日

米子市淀江旧庁舎で開催された。補正予算の主なもの。

- 一、皆生出張所の救助工作車更新(救助用機材及び高度救助用機材一式含む) 1台
- 取得価額 1億2,379万5千円
- 相手方 榊吉谷機械製作所

- 二、消防ポンプ車 1台
- 取得価額 2,919万円

三、教育委員会委員の任命

「教育委員会委員矢倉幹治氏辞任に伴い、後任に廣川健昭氏が任命された。

ごみ処理施設

調査特別委員会

日野郡から日南町議会議長村上氏と江府町議会議長川上氏が選出され、各地区の焼却施設、処理施設等の実態調査と最終的にエコスラッグセンター及び最終処分地を検討するための調査特別委員会が設置されました。

第1回委員会は、9月30日に開かれ、ごみ処理施設の現状と課題について説明を受け、今後の取り組み、日程について意見集約をされた。

西部町村議会議長行政調査研修報告

「リビノ、宣言の町」

大木環境センター「くるるん」 福岡県大木町

8月27日、西部議長会で今後の町づくりのヒントがありました。

「生ごみを資源に」循環の町づくり、従来焼却処理していた生ごみや海洋投棄処理をしていた浄化槽汚泥・し尿は、エネルギー資源として、また有機肥料として町内で活用されています。未来の世代に地球温暖化などの深刻な影響を残さないように、ごみ資源として循環活用する社会を創ることを目標にまちづくりを取り組んでいる大木町は、世界から視察見学があるくらいです。処理施設に隣接してある「道の駅」は食事ができる「モアハウス」を隣接して、ごみ処理施設が隣接していても、臭いがせず、お客さんも楽しく食事を楽しんでいました。再生社会の取り組みを検討しなければなりません。

資源を活かした

まちづくりに取り組んで

熊本県小国町

8月28日、熊本県小国町を行政視察しました。九州のほぼ中央に位置し、世界的医学者 北里柴三郎を輩出した町で、主産業は、良質の「小国杉」の産地として栄えています。「ジャージー酪農」を50年前に取り入れヨーグルトは町の代表的な特産品に育っています。

豊富な温泉源に恵まれて、町の至る所に温泉街や公衆浴場が存在しています。新しい観光の形「ツーリズム」を実践する「九州ツーリズム大学」で「学習」と「交流」を学んだ学生が全国でツーリズム運動の原点になっています。しかし、少子高齢化が進み、人口の減少に歯止めがかからないので、子育て支援と産業の売り込み等に力点を置いて「小国町の活性化」を図っています。中山間地で少子高齢化対策は、共通の問題であり、住みたいまちづくりに取り組んでいかなければいけない。

国土交通省・太田大臣・赤沢政務官等に要望書提出 (7月26日)

地域高規格道路「江府三次線」の整備促進を建設促進会 会長広島県三次市長・庄原市長・日南町長・江府町長・各議会議長・担当課で関係省庁の担当に直接要望を提出し、早期開通の要望書を提出した。

一般質問

町政ここを問う

一般質問は3人の議員が行い、町長の方針をたどした



三輪 英男

問	保育園児等の健全育成について
答	積極的に意思の疎通を図る

質問 江府町の宝は豊かな自然として、数少ない子供たちである。保育園に子供を預ける保護者にとって安心して仕事をするため、「我が子が心身ともに健全に発達できる場である保育園」で働く保育士との関わりは、重要である。信頼関係を形成していく中で、常に自己研鑽に努め、喜びや意欲を持って保育に当たることが肝要と思われる。教育長の見解を伺います。

教育長答弁
保・小・中の連携が重要であり、先生方は互いに保育・授業を参観したりして共通理解のもと、より良い教育効果を生むように努めています。お互いが待ちの姿勢でなく積極的に意思の疎通を図るよう行動することが大変重要だと考えます。健全育成のために、関係者の皆様がお互いのできる努力を惜しまないでほしいと願っています。

問	廃校の利活用の指針について
答	廃校利用計画案に沿って利活用

質問 廃校を地域活性化の起爆剤としていかにビジョンを持ち有効活用す

るのかは、地域の姿勢であり地域の情熱でもあります。又、廃校利用は中山間地域にとっては地域再生の大きな目玉施設であります。廃校の利活用先進地の情報を視察した結果、条件さえ整えば廃校の利活用が実行可能と思われれます。江府町の財産を多面的有効活用されまますよう町長の見解を伺います。

町長答弁

旧米沢小学校は資料保存施設・体育館は地域の健康づくり施設。旧明倫小学校は敷地の大部分が借地の為校庭は地権者と用地返還の協議をしており。校舎は近年中解体し、体育館は地域の健康づくり施設。旧俣野小学校は「認知症の人と家族の会」が利用、今後は地域医療の拠点及び外来者宿泊研修施設として、体育館・グラウンドは地域の健康づくり施設とする。旧米原分校は大山地区砂防施設として活用お願いし、併せて工芸愛好家の利用に

問	人口減社会における雇用創出のキーワード
答	西部圏域へ進出した企業に雇用助成

向けて募集を検討しています。一覧表にして提示いたします。

様々な体験を行う「着地型」観光へと転換をし、環境関連分野ではバイオマスなど再生可能エネルギーを用いた産業の雇用の創出を目指すなど、視点をかえて取組むことが肝要とおもわれるが町長の見解を伺います。

質問

人口減社会のなかでの郷土の再生を構築すべき手立てとして、いかに人を呼び込むことが大きな意味を持ちます。「安心・安全」「癒し」「健康」「繋がり」「イノベーション(刷新)これらは雇用創出のキーワードであります。社会の成熟とともにそれに比例する高齢化社会等の現実を捉えたうえでしっかりとした方向付けが大切と考えられます。特に「観光関連産業分野」は地域資源である自然や農産物、歴史文化を有効的に活用し、これまでの観光地を巡る「周遊型」、休憩地等として立ち寄る「通過型」観光から、滞在する中で

町長答弁

第一次産業に付加価値をつけて高度化を目指す六次産業化による加工、流通の複合化とその発展による事業の雇用や、観光産業の活性化と地域資源の地域消費拡大による活性化(たとえば、食と文化と景観環境の融合による観光)などの起業者への支援等が考えられる。西部圏域への進出した企業に対する、雇用人一人当たり三十万円を各出身町村が助成する事業や、六次産業化や起業、地域資源などをキーワードとし、様々な要素を組み合わせた取組みを積極的に何事にもチャレンジすることを指示実践していきます。

町営住宅の増設について IターンUターンの受け皿作りについて 奥大山スキー場の運営について



三好 晋也

問	町営住宅の増設について
答	移住定住策のポイントになる

質問 町内で生まれ育った若者が、就職や結婚を機に町外へ転出することは、人口減少に繋がる大きな要因の一つです。その歯止め策として町営住宅の増設が必要と考えるが町長の所見を伺う。

町長答弁 現在、町管理の住宅は世帯用が26戸、単身用が4戸の合計30戸で、現在そのうち28戸入居頂いております。また、状態といたしましては、入居の更新時に点検修理を行っています。先般、久連住宅団地で屋根の全面修繕を行ったように、次第

に修繕の必要なものが増えつつあり、中には相当老朽化しているものもあります。

ただ、新たな住宅建設については、場所の選定と用地の確保、地域との調整や時代に合った住宅コンセプト等の設定が重要であり、経費的にも大きな事業になります。よって、具体的な潜在ニーズのデータが現在ございませんので、より効果的な事業をするため、今後のニーズ調査等が必要であり、その時々々の経済状況や社会状況により若干、調査結果と実際はかい離する可能性はございますが、できるものから調査検討を進め、過疎計画及び次の総合計画等につないでいくよう指示したいと思っております。

問	IターンUターンの受け皿作りについて
答	調査と検討をする

質問 IターンUターンで町内に定住を希望される方々の多くは、空き家（中でも古民家）や空き店舗で農業その他起業を望まれる方々が多いと思っております。一方、一戸建て住宅で悠々自適な生活を過ごしたいと思っておられる方々もいらっしゃると思います。そういう人の為の宅地造成も必要と考えます。私個人的には江府中学校の跡地が最適地と考えますが町長の所見を伺います。

町長答弁 IターンUターンにおいても、住居の確保は重要な要素となっております。近年、移住定住に関し空き家や古民家を利用した事例が県内外でも多く報道されています。以前、町でも空き家の情報と物件の確保について調

査を行ってありましたが、空き家の数に比較して、賃貸等の対象になる物件が非常に少なかった状況がありました。町といたしましては、色々な情報をもとに物件かの所有者に交渉しながら情報の整理を行っているところであり、さらに空き家の活用について様々な方法を進めていくよう担当部署に指示しております。この空き家の活用による移住定住策は、地域社会の理解と協力が重要であり、広く地域からの情報提供と地域に溶け込む際の協力が肝心でありますので、地域や集落に出かけた時などに情報提供などをお願いしております。

また、宅地造成については町有地の活用が最も早く対応ができると思いますが分譲だけでなく、町営住宅やその他施設の建設も含めた、一つのエリアを設けるような構想が必要と考えますので調査と十分な計画組立を検討していきたい。

問	奥大山スキー場の運営について
答	来場者アップにつなげる

質問 ①以前から要望しておりまして第二リフト横の休憩所のトイレを今回の補正予算案で改修費を予算計上して頂きましてがこの際、リフト運転室の改善も合わせてお願いしたい。

②来場者アップに繋がる営業活動をシーズン前にどう展開するか。

町長答弁 ①質問の休憩所トイレは平成13年に設置した循環式トイレですが、以前から来場者から苦情が寄せられていたものです。今回の補正で予算計上いたしました。なお、リフト運転室の改善をこのことですが検討させて頂きたい。

②シーズン前の営業活動についてですが県内外の小中学校等を訪問して団体客の誘致を行っているが、更に駐車場の利便性やスノーボード客が9割以上を占める特性などをアピールして集客に努めたい。

三町の合併について



竹茂 幹根

問	三町合併は
答	考えていない

質問 住民投票の結果を受けて日野町との合併解消から10年経過した。町村合併のメリット、デメリットの総括はどうされたか。今後江府、日野、日南の三町の合併については、どう考えているか。協議会の立ち上げの意志はどうか。

町長答弁 平成16年の住民投票の結果、有権者の3分の2が反対であり合併は実現しませんでした。メリット、デメリットについては、合併しなかったので

申し上げにくい。合併しなかったことで身近な町政が実現できた。考える。合併特例債とか地方交付税の合併加算等を使うことが出来なかった。運営上のメリットはなかった。三町の合併については考えていない。日野地区連携、共同協議会を中心に行政サービスの維持向上につとめていきたい。

問	財政状況は
答	健全化に努めたい

質問 本町の財政再建と財政の健全化について、現状を伺います。

町長答弁

本町においては平成17年から江府町まちづくり推進計画を策定をいたしました。その計画の重点事項であります財政の健全化については、投資的経費の抑制、事務経費等削減、公共料金の見直し等、職員、特別職、給与削減、議員報酬の削減等、かなり厳しい行財政改革を行いました。24年度は地域の元気臨時交付金の配分などで実質的収支がプラスとなり一般財政調整基金残高が8億8000万円となりました。そういう状況の中、実質公債費比率17%になり、将来負担率について66・8%となり大幅な減となりました。しかし県下の他の町との比較では厳しい状況だと言えます。気を緩めることなく健全な財政運営に心がけていきたい。

質問 中学校生徒数激減の状況下、中学校の教育目的の達成と教育環境の整備等について10年後を見通した教育改革の指針

について具体的計画を伺う。

町長答弁

江府中学校の教育は、校訓「しなやかな心と体」のもと創立から55年目の現在まで伝統と歴史は脈々と生き続けています。生徒は平成26年度61名、平成35年度には36名となり減少します。生徒は減りますが教育方針は創意工夫すれば、まだまだ効果は期待できると考えます。少人数指導を基本に据え、学力向上の成果は出ております。一方、老朽化の校舎を新築しており、より良い教育環境で推進することが大切と考えております。

問	情報公開は
答	公開に努めたい

質問 現在の公的会議の公開、非公開の状況を問う。公的会議の公開条例

制定についての考えは。

町長答弁

法律により原則公開とされている会議は町議会、教育委員会会議の会議であります。同時に非公開にすることも規定してあります。

公文書の情報公開につきましては、平成13年に制定し情報公開につとめております。

質問 議会の映像により情報公開し住民へのサービスの実現を考えてはどうか伺う。

町長答弁

議員の皆様にご協議をいただき方向性をだしていただきたいと思います。映像配信につきましては、いくつかの方法は可能と考えます。

平成25年9月3日、川上富夫議員が西部町村議会議長会において自治功労賞を受賞されました。
 なお一層のご活躍をお願い致します。



川上 富夫議員

西部町村議会議長会
 自治功労者表彰
 (在職11年以上)

議会事務局長異動



梅林 茂樹

10月1日付で農林課に異動になりました。

平成21年4月1日から議会事務局にお世話になって早いもので4年6か月が経過しました。

議会のみならずには大変ご迷惑をおかけしながらの4年半でした。議会は即決しなければならぬところが多々あり、県議長会、西部各町村の議会事務局のみならずの知恵を借りながら対応をさせていただきました。その間、自治法の大改正等があり、各自治体の議会は「開かれた議会」を目指し改革をされてきました。江府町議会においては実施に向けまだまだこれからです。江府町議会の改選を機に早期のルール作りが望まれます。町民に解りやすい議会を目指し早期の改善を期待します。4年半大変お世話になりました。



加藤 泉

10月1日付の異動で議会事務局に着任しました。

実は二十数年前に議会事務局に4年6か月ありました。その間、当初は議員定数16

名、浜本博議長、井上健治町長、そして議員定数14名、白石秀之議長、福田正臣町長へと江府町が大きく変わりました。会派も存在し活発に活動をされていきました。現在は議員定数10名、少しさびしい感もありますが、財政健全化で努力された結果であると思います。微力ですが江府町の議決機関運営の手助けとなるよう努力したいと思っております。よろしくお願い致します。気軽に議会事務局へお立ち寄りください。

陳情の審査結果

件名	提出者	審議結果
「森林吸収源及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保のための意見書採択」に関する陳情	全国森林環境税創設促進議員連盟 会長 板垣 一徳	採 択
年金2.5%の削減中止を求める陳情	全日本年金者組合 鳥取県本部委員長 増田 修治 西部支部長 松本 正孝	趣旨採択
消費税増税の凍結を求める陳情	鳥取県消費税廃止各界連絡会 代表 奥田 清治	不採択
道州制導入に反対する意見書の提出について	全国町村議会議長会 会長 蓬 清二	採 択
地方財政の充実・強化を求める陳情	自治労鳥取県本部 執行委員長 本川 博孝 江府町職員労働組合 執行委員長 末次 義晃	採 択

ひとこと



柿原 加藤智江美

地域の 子供のために

「ただいま。」
「おかえりなさい、フ
アイルをカバンに入れて
宿題しよう。」
こんな会話が合図のよう
に放課後子供教室が始ま
ります。
私は、昨年から放課後
子供教室の安全管理員と
して勤めています。
学校の授業が終わった
後、家に帰ってもお家の
人が留守の子供達を小学
校のランチルームでみて
います。毎日30人から40
人程の子供が集まってき
ます。まず宿題をするよ
うに声をかけます。さ
つと済ませてしまう子
なかなかかどらない子

と色々です。宿題が終わ
れば、トランプをしたり
折り紙をしたりして遊び
ます。

私達は、子供達が怪我
をしない様安全面に気を
付けています。狭い中で
大勢の子供が遊ぶので、
ハツとする事もありますが、
し、喧嘩もありますが、そ
の都度注意していきます。
帰りは、ランチルーム
まで迎えに来られる家の
方もありますが、その他
の子は歩いて防災センタ
ーまで帰ります。

子供達と歩いていると、
近所の方々が、
「おかえり」と、
声をかけて下さいま
す。そういう光景をみる
と、地域の方々に子供を
育ててもらっているんだ
なあと思います。
私も地域の子供の為に
何か役に立てればと思っ
て、この仕事を選びまし
た。今では地域の方々の
暖かさにふれ、又、子供
達の成長した姿を思い浮
かべつつ、子供達のパワ
ーに圧倒されて毎日仕事
をさせてもらっています。
どうか地域の皆様、子
供の姿をみかけられたら
今以上に声をかけて下さ
る様お願いします。



御机 高津 孝司

江府町商工会の 地域振興への アプローチ

江府町においては、人口
減少と高齢化が進展する
なか、小規模事業者を取
り巻く環境は依然として
厳しく、事業後継者不足
や経営体質の硬直化など
が進み、地域と経済の両
面からの立て直しが急務
となっております。
商工会の特徴として、
地域密着型支援機関とし
て、多種多様な事業者、
業種で構成されており、
様々な業界情報や経営情
報、また地域情報が交流
（交換）、蓄積出来るほか、
全国的な組織としての
ネットワークが構成され
ており、中央情勢や他県
の状況についての情報を

得ることが出来る強みが
揚げられ、地域事業者の
最も身近な総合支援窓口
として活動を行っていま
す。

また地域から厚い信頼
感のある組織として、行
政や各関係団体と緻密な
連携を取りながら、地域
経済の担い手として強く
渴望されていると同時に、
地域活性化を支える大き
な役割を担い、地域のシ
ンクタンクとしての活動
も行っております。

商工会の将来展望(商工
会のあるべき姿)として、
「元気な企業作り」「地
域活性化・地域再生」「地
域の雇用創出」、地域あつ
ての企業、企業あつての
地域、住民あつての企業
と考え。
行政の期待に出来る商
工会、地域から信頼され
る商工会、会員、企業の
期待に出来る商工会をめ
ざしています。
そして、江府町商工会
は地域経済の担い手とし
て、行政・関係機関との
協力体制の下、「会員満
足度日本一」を念頭に邁
進してまいります。



▼猛暑、そして7月の豪雨に
よる被害は、今だにその爪跡
を町内いたる所に残している。
それでも、穏やかな秋日和
が続き稲刈り作業も終り農家
にとつて安堵の色が見られる。
農水省の発表による全国作
況指数は102で作柄はやや
良。鳥取県も102でやや良
とりあえず収穫の秋を喜びた
い。刈田の畦に彼岸花の赤い
色が一際美しい。

▼2020年夏季五輪の開催
が東京に決定。安心・安全で
確実な五輪をアピールされて
いる。

7年後に共に感動を喜び合
えるか不安……

▼来年4月に消費税増税が決
定。17年ぶりの増税であるが
危機感を抱く。

▼自分が絶対に正しいと信じ
る人は確実に間違っている
という格言もあります。人の意
見に耳を傾ける謙虚さが大切
ではないかと、秋の夜長に思
います。
越峠

議会広報調査特別委員会
委員長 上原 二郎
副委員長 越峠恵美子
委員 川端 雄勇
田中 幹啓
川上 富夫